

報告(3)

“こども図書館”の整備について

令和4年8月23日

熊本県

【こども図書館について】

建築家の安藤忠雄氏から「子どもたちが、いろいろな本に出会い、読む習慣を身につけ、判断力や表現力を養い、感性や創造力を育んでほしい」との思いでスタートした“こども図書館”を、ぜひ本県で整備したいとの提案がありました。

この“こども図書館”は、設計・施工にかかる費用は安藤氏が負担され、建物完成後に自治体に寄贈されるもので、大阪市（2020年7月）、岩手県遠野市（2021年7月）、神戸市（2022年3月）でオープンしています。



【整備場所について】

県立図書館と連携し、水前寺江津湖公園の豊かな自然の中で、子どもたちが本と出会い、本に親しみ、豊かな感性や創造力を育む場を提供するため、県立図書館の南側隣接地を整備場所としています。



【整備に向けて】

県としては、都市公園（水前寺江津湖公園）の管理者である熊本市と連携して、整備に向けて取り組んでいくこととしています。

水前寺江津湖公園の豊かな自然環境を生かして、未来を担う子どもたちが感性や創造力を育むことができるよう、地域の皆様の御意見も踏まえながら“こども図書館”の整備を進めたいと考えています。

このため、こども図書館の整備を進めるにあたり、双方の役割等を明らかにするため、協定書を締結します。

※整備スケジュール

- ・ R4年8月23日 こども図書館の整備について公表
安藤忠雄建築研究所と協定締結
- ・ R5年春 こども図書館 建設着工
- ・ R6年春 こども図書館 オープン

【参考：先行事例】

こども本の森 中之島（大阪市北区、2020年7月オープン）



こども本の森 遠野（岩手県遠野市、2021年7月オープン）



(注)「こども本の森中之島」及び「こども本の森遠野」のホームページに掲載された写真を一部加工して掲載しています。

こども本の森 神戸（神戸市中央区、2022年3月オープン）



（選書） 15のテーマに分けて、絵本、児童文学、図鑑、アートブック、海外の本などが並べられている。



1. しぜんの森



2. いきものの森



3. かんがえる森



4. いのちの森



5. こうべの森



6. おはなしの森



7. あかちゃんの森



8. げいじゅつの森



9. うみのむこうの森



10. よのなかの森



11. むかし〜いま〜みらいの森



12. あそびの森



13. ぐらしの森



14. たべものの森



15. こそだての森



（注）選書テーマの画像は「こども本の森神戸」のホームページに掲載された画像を使用しています。